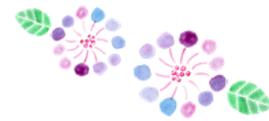




令和4年度6月の園だより



えがおいっぱい！！

ホールや、公園では子どもたちの元気な声や笑い声が響き渡っています。

みんなで一緒に踊ることを喜んだり…。



「もういっぱい」と何度も挑戦したり



「どうやったら早く走れるかな？」と早く走れる方法を友だちと考えたり…。



子どもたちは運動会の日に、大好きな保護者の方に見て頂くことを楽しみに日々取り組んでいます。

きっとご家庭でも「今日はね…」と子どもたちからやったことや、感じたこと、時には思うようにならなかったことなどを話す機会が増えているのではないのでしょうか。その時の保護者の方のまなざしや対話は子どもたちにとってとても大きな力となります。様々な経験の中で日々成長していく子どもたちの姿と一緒に楽しみながら応援していただけたらと思います。

もうすぐ運動会

6月11日(土)は子どもたちも楽しみにしている運動会です。

昨年の運動会は新型コロナウイルスの感染状況が逼迫していたこともあり、6月に予定していた運動会も9月へ延期となり、さらに保護者の皆様の観覧をご遠慮いただき、後日、動画配信となりました。この決定については当時の感染状況(至る所でのクラスター発生、休園、学級閉鎖、緊急事態宣言発令など)や感染後の重症化の状況などを踏まえると、本当に苦渋の決断であったと思います。

あれから1年が経過してwithコロナの状況も少しずつ変化してきました。今では、マスクの着用について文部科学省・厚生労働省の連名で「就学前の子どもについてはマスクの着用を一律に求めない」という考え方が示されました。これに先駆けて、みみょうグループにおいては理事長より、「夏場に向けてのマスクの着用について」と題し、園内外でのマスクの着用についてお知らせしています。5月17日のきっずノートにて配信、合わせて、玄関に掲示しておりますので改めて確認ください。

今年の運動会については、現在も感染者が多く、また、高齢者や既往症を持つ方の中には重症化する方がいるということを踏まえ、幼児クラス(3.4.5歳児)と卒園児が参加する運動会とし、同居のご家族2名までの参加(観覧)とさせていただきます。0.1.2歳児クラスは運動会には参加しませんが、運動会ごっこなどを楽しんでもらう予定です。また、幼児クラスの練習する様子は、随時、エントランスのモニターにて流していきますので、是非ともご覧になっていただき、少しでも子どもたちの育ちを感じていただければと思います。

子どもたちの安全のために

さて、4月16日(土)…広島市内の保育園で保育中に「5歳の園児が園外へ出て、その後、河川で亡くなって発見された」という、とても悲しい事故がありました。亡くなったお子さん、保護者のことを考えると、とても辛く、いたたまれない気持ちになります。当事者である保育者自身も、「あの時しっかりと確認してれば」「どうして気が付かなかったのか」などと悔やんでも悔やみきれないことと思います。そして、この一件は決して他人事ではなく、いずれの園においても起こり得る可能性がある

ことを認識し、二度と起こらないよう努めていかなければなりません。みみょうグループには数年前から各園にリスクマネージャー(危機管理担当者)がおり、定期的にヒヤリハット検証や、どうすれば事故を防げたかなど話し合いを行うなどしてリスク管理を行っています。今回の一件を機に、改めて施設の状況などを確認するとともに、施設から子どもたちが抜け出してしまう可能性について話し合いを行っています。

ここで改めて、子どもたちの安全のため、保護者の皆様にもいくつかお願いがあります。

はじめに、『園の入り口にある門扉の“わっか”を必ずかけてください。』

出入口の扉のノブは幼児クラスの子供たちは手が届き自分で開けることができます。開けた扉の先は往来の多い車道です。“わっか”は子どもたちだけで出ていくことを避け、子どもたちの安全のために設置しています。“わっか”を必ずかけ、子どもたちと一緒に帰路についてください。

次に「子どもたちだけで階段を降りてしまうこと、また、門の出入り口が開いた瞬間に子どもだけが出てしまうということ」が見受けられます。子どもたちの安全のためにも、登降園時に、園庭やエントランスなどに子どもだけにいる場合や子どもだけで外へ出ようとする場合には子どもに「どうしたの?」と声をかけてください。もしくは近くの職員(事務所)まで教えてください。たくさんの思いやりやまなざしが子どもたちを守ることになります。

最後に、園内および園の周りに危険と思う箇所、疑問に思う箇所がありましたら教えてください。子どもたちにとっての最善の環境づくりに努めていますが、没頭するがあまり、見えなくなっているところ、気づけていない箇所があるかもしれません。

保護者の皆様とともに子どもたちの安全を見守ることができればと思います。

ご協力お願いします。

園長 久保 徹平



門扉の“わっか”

子育て応援メッセージ

小さいときは手をかけて
大きくなったら心をかける



髪を結んであげたり、抱っこしたり、小さい時は手をかけてあげることができます。でも、大きくなるにつれて子どもは手から離れていきます。その分、心をかけてあげましょう。心の成長は、大人になるための大切なステップですから。

著：宇津崎光代「大丈夫だよ

お母さん」より

いろは出版

地震・水害に備えよう

消さないで
あなたの心の
注意の火



広島市南消防署
警防課 救助係